

4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

|   |  |
|---|--|
| 会 議 名   | 第2回武蔵村山市在宅医療・介護連携推進協議会   |
| 開 催 日 時                                       | 平成29年11月1日（水） 19時30分 ～21時  |
| 開 催 場 所                                       | 市民総合センター3階 小会議室  |
| 出 席 者 及 び 欠 席 者                               | 出席者：下田委員、小関委員、小山委員、宇津木委員、堀尾委員、佐藤（大）委員、高佐委員、新井委員、五十嵐委員、山岸委員、宮沢委員、鹿取委員、佐藤（千）委員、内田委員、高齢・障害担当部長、高齢福祉課長、管理グループ主査、管理グループ主任、高齢福祉グループ主査、高齢福祉グループ主任<br>欠席者：柳川委員、河西委員<br>傍聴者：0名  |
| 議 題   | 報告事項1 平成29年度第1回会議録について<br>報告事項2 その他<br>議 題1 在宅療養ハンドブックの作成について<br>議 題2 多職種研修会の実施について<br>議 題3 認知症初期集中支援チームについて<br>議 題4 その他   |
| 結 論<br>(決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)           | 在宅療養ハンドブックについて、ICT部会のメンバーにも確認してもらい、修正したものを協議会で再度チェックすることとなった。<br>多職種研修会のプログラムについて、村山医療センターと調整することとなった。   |
| 審 議 経 過<br>(主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) | 開会<br><br>《報告事項1 平成29年度第1回会議録について》<br>事務局：説明<br>委 員：質疑なし<br><br>《報告事項2 その他》<br>事務局：特になし<br>委 員：質疑なし<br><br>《議題1 在宅療養ハンドブックの作成について》<br>事務局：前回作成した内容について、内田委員にも御協力をいただき、手を加えた。内容等について意見をいただきたい。<br>委 員：高齢化率や地域特性等、市の特色を記載したほうが市民も手取りやすいのでは。<br>委 員：読むのは高齢者なので、文字数を少なく、構成を見やすくした方が良い。<br>委 員：ハンドブックの内容に認知症についてと、救急対応のことについて |

での記載がない。在宅療養を始める方は身体的なことだけではなく、認知症の方もいる。また、在宅療養で不安が大きいのは緊急時にどうすれば良いかということである。具体的な対応方法についても記載があったほうが良い。

委員：費用についても記載があるが、実際とは異なる金額となっている。正確な金額を載せるか、「一例として」といった一文が必要。

委員：記載されているイラストにも誤解を生じる可能性がある。

委員：この協議会の職種だけではなく、ICT部会等の他の職種にも確認してもらった方が良いと思われる。

委員：もう少し踏み込んだ実践的なものに。大幅な改訂が必要。

委員：今年度中に発行する予定なのか。

事務局：できればそのようにしたい。

会長：ICT部会のメンバーに一度見てもらい、修正したものを協議会委員に郵送などで送付し、更に委員から出た意見等を反映してきたものを次回の協議会で最終チェックするというのはいかがか。

委員：異議なし。

事務局：そのように対応する。

委員：事務局に確認するが、ICT部会のメンバーには、協議会委員ではない方もいるが良いのか。

事務局：問題ない。様々な意見を出してほしい。

#### 《議題2 多職種研修会の実施について》

事務局：前回の協議会において、今年度の多職種研修は1回と決定し、テーマはリハビリテーションとなった。講師は村山医療センターの医師にお願いした。講師からは講義2時間、グループワーク30分、総括30分を予定しているとのこと。後半の事例検討等については未定の状態である。

委員：病院と在宅でのリハビリには違いがある。在宅でのリハビリについて専門職に講義等をしてもらうことはできないか。

委員：実際の現場でのリハビリについて、老人保健施設職員とケアマネジャーが困っていることに相違がある。リハビリというテーマは大きい。

委員：医療と在宅の両面から見るのは有意義だと思う。

委員：前半だけでなく、最後まで医師に講師をお願いするほうが良い。その場合、講師一人で担当するのは大変だと思うので、村山医療センターのスタッフにも協力してもらえば良いのでは。

委員：前半と後半でグループワークが2回ある。内容が大事である。

委員：目で見える、体験できる研修会を目的としたい。

委員：研修会の内容については、村山医療センターに任せるのが良いと思う。ただ、そうすると医療の側面だけになってしまう可能性もあるので、在宅の方たちの意見も取り入れないといけない。

事務局：講義内容も含め、村山医療センターと調整を行うこととする。

委員：研修会の開会のあいさつについては、アピールにもなるので、市長に来てもらうことはできないのか。また、共催、後援として北多摩医師会と東京都医師会が入っているが、補助金の申請をする予定がないのであれば、特に入れる必要もないと思われる。

事務局：市長の出席については確認を行う。共催、後援については受けない方向とする。

|  |   |
|--|---|
|  | <p>委員：今年度の協議会は残り1回としているが、来年度の全体的な流れや研修会テーマや日時等を先に決めておかなければ間に合わないのでは。医療と介護の連携はこれからも続くものである。継続性を意識してほしい。</p> <p>会長：来年度の多職種研修会は年2回行う方向で調整をお願いする。</p> <p>事務局：検討する。</p> <p>《議題3 認知症初期集中支援チームについて》</p> <p>事務局：認知症初期集中支援チームでの事例報告を行う。チームが介入するためには、本人同意が必要である。今回のケースについては、担当の地域包括支援センター職員と本人の間で信頼関係があったことで本人同意を得ることができた。今後の課題としては、いかに本人と支援者との間に信頼関係を築くことができるかということである。</p> <p>委員：チームとして介入できていないケースはあるのか。</p> <p>事務局：他の地域包括支援センターから相談は来ているが、本人の同意がないと介入できない。信頼関係を築くことが課題である。</p> <p>《議題4 その他》</p> <p>会長：各委員から何かあるか。</p> <p>委員：摂食・嚥下相談窓口を設置した。また、健康づくりを目的とした市内ウォーキングマップを作成した。部数が余っているので連絡をいただければお渡しすることができる。</p> <p>事務局：今回は、3月末を予定していたが、ハンドブックの件があるので、日程は改めて調整させていただきたい。</p> <p>会長：次回協議会は事務局からの連絡待ちとする。</p> <p>終了</p> |
|--|---|

|             |   |
|-------------|---|
| 会議の公開・非公開の別 | <p><input checked="" type="checkbox"/> 公開 <span style="float: right;">傍聴者： _____ 0人</span></p> <p><input type="checkbox"/> 一部公開</p> <p><input type="checkbox"/> 非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="font-size: 2em;">( )</p> |
|-------------|---|

|              |  |
|--------------|--|
| 会議録の開示・非開示の別 | <p><input checked="" type="checkbox"/> 開示</p> <p><input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等： _____）</p> <p><input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等： _____）</p> |
|--------------|--|

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 庶務担当課 | 健康福祉部高齢福祉課（内線：632） |
|-------|--------------------|